

～福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部は地域・社会へ
貢献したいと考え、地域から愛される大学づくりを目指しています～



地域・国際交流センターは、地域貢献・国際交流・生涯学習の3つの部門が集まるセンターです。地域貢献部門では、地方自治体や産業界等の地域と連携し、大学の様々な取り組みを行う機関、教職員、学生をつなぎ、各取組を全学的に統括・地域連携活動をコーディネートしています。今回は、2023年度前期の主な活動を紹介します。

心に花を

私はこの福岡女学院に奉職してまもなく40年になろうとしています。最初は中学高校で教えていました。放送所の信号から福岡女学院へ向かう途中に今はスーパーがありますが、昔はNHKの職員住宅があり、その長い塀に心無い方々がたびたび落書きをしていました。その塀に絵を描くという取り組みが春日市と学校の間でなされたことがあります。美術部の生徒たちは一生懸命、いろいろな色を使って大胆に思い思いの花の絵を描いていきました。その後、落書きはなくなり、生徒たちは荒々しい落書きではなく、花の絵を見ながら登下校をすることができるようになりました。春日市からは感謝され、また生徒は自分たちの活動が街や人の役に立てていることを実感し、さらに社会へ目を向けるきっかけになりました。塀に描いた花は、地域や生徒の心に花をもたらしてくれました。

現在、私は大学教員ですが、南区との連携により小学生を対象にした「こども大学」の講師として短歌を教えています。夏休みになると、水筒の中の氷をカラカラ鳴らして、小学生が保護者と元気に来校します。生涯学習や社会貢献ということの根底には、「人生をいかに生きるか」という大切な問いがあるように思います。林芙美子の「花のいのちはみじかくて苦しきことのみ多かりき」という言葉は知られていますが、実はその先に「風も吹くなり雲も光るなり」と続いています。今や人生百年と言われる時代において、大学と地域の連携が双方の風を吹かせ、頭上の光る雲となって、心豊かに生きる力に繋がるものだと思います。これからも、本学の地域連携の取り組みをよろしくお願い致します。



地域・国際交流センター
副センター長
桜川冴子

NEWS！地域の皆様からのご意見を募集しています

地域の皆様から本学の地域貢献活動に関するご意見、ご要望を伺い、活動に反映することでより一層、地域のお役に立ちたいと考え、この度、ホームページに意見を募集するアンケートフォームを新たに設けました。

「こんな講座・活動を実施してほしい」

「この自治体での連携活動を、ここでも活かしてほしい」など、

忌憚のないご意見お聞かせください。ご協力の程よろしく願いいたします。



ホームページ「地域
貢献活動に関する意
見募集」はこちら↑

春日市 >> 若者の主権者意識の醸成

2022年度に引き続き、春日市選挙管理委員会事務局から「春日市内の若者の主権者意識の醸成および投票行動促進」という課題について協力依頼があり、人間関係学部心理学科 藤村まこと先生の協力のもと、心理学の知見を活かして連携事業に取り組んでいます。

7月には、本学学生がデザインした、選挙投票啓発チラシが春日市在住の新成人向けに配布されました。制作を担当したのは、メディア・コミュニケーション学科2022年度卒業生、心理学科4年生の2名です。各学科で学んだ知見を活かし取り組んでくれました。

心理学科の授業、「心理学フィールドワーク(キャリア)A」では課題解決型のPBL学習に取り組んでいます。5月はゲスト講義と春日市議会への訪問が行われました。7月には、これまで学んだことを活かし、どうしたら投票が促進されるか、そもそもの意識の低さの要因は何か等についてリサーチや研究などを行い、不在者投票の認識や政治意識に関して現段階で調べていることやそこから見出した仮説を発表しました。今後は後期の授業「心理学フィールドワーク(キャリア)B」においてさらに調査・研究を深め、1月ごろに最終報告会を行う予定です。



新成人向けチラシ

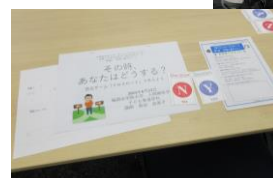
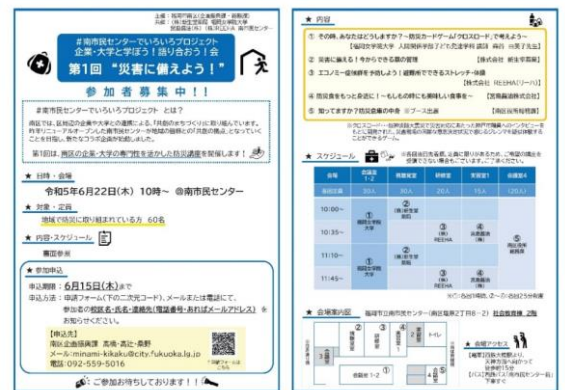


福岡市南区 >> 南市民センターでいろいろプロジェクト 企業・大学と学ぼう！語り合おう！会 第1回 災害に備えよう

企業・大学・行政が一体となった南区初の地域向けイベントが6月22日に、2022年度にリニューアルした南市民センターで行われました。

南市民センターの活用促進を目的に3回シリーズで行われている本プログラム第1回は、各校区で防災に取り組まれている市民を対象に、3企業と本学が参加し、「防災」をテーマに実施されました。

本学は、7年前の熊本震災で地域の復興支援に携わった、人間関係学部子ども発達学科の森谷由美子先生が講座を担当。「その時、あなたはどうしますか？～防災カードゲーム「クロスロード」で考えよう～」をテーマに、災害を想定して当事者の立場に立ったときに、自分ならどのように判断するか、ゲームを通してお互いの価値観と意見を共有しました。多種多様な考え方、違う意見があり、それぞれの地域や自分自身に求められる防災対策について考える機会になったようです。スタッフとして参加した学生にとっても、普段関わりが少ない地域の方との交流や防災カードゲームの経験は、貴重な学びの機会となりました。



※「クロスロード」：阪神淡路大震災で災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューをもとに開発された、災害現場の困難な意思決定状況で感じるジレンマを疑似体験することができるゲーム。

福岡市南区>>南区こども大学2023「短歌をつくろう」

「南区こども大学2023」は、包括連携先である南区が区内及び周辺部に立地する7つの大学・短期大学と
合同で、楽しみながら学べる小学生向けの体験講座を開講するものです。

本学は7月28日に「短歌をつくろう」の講座を開催しました。

講師は本学現代文化学科の桜川冴子先生です。当日は22名の小学1～6年生が参加し、短歌の5・7・5・
7・7のしくみや比喻、オノマトペの使い方などを「福岡女学院短歌コンクール」の優秀作品を見て学びま
した。実際に短歌を作成する場面では、風景などのイラストを参考にしながら一生懸命、言葉を取捨選択
して短歌をつくっていました。はじめてつくった子どもたちも多数。完成し、先生に褒められたときはと
ても嬉しそうにしていたのが印象的でした。



最後には完成した短歌を本
学の「短歌ポスト」に笑顔
で投函しました。

小郡市・岡垣町>>特別講義

包括連携先の2自治体より市長・町長をお招きし、本学の授業で特別講義を行っていただきました。

小郡市とは連携事業として【小郡市観光まちづくり調査研究事業】に取り
組み、小郡市の観光資源、特に歴史・文化を題材にして、授業科目「観光
文化論B（観光まちづくり論）」のなかで調査、研究等を行っています。
最終的には、学び研究したことを自分の意見として、小郡市側に表明(提言)
できるようになることを目標としています。

7月5日の授業では、加地市長から小郡市が過年度より取り組まれている
「観光まちづくり推進事業」と、新たに進行中の都市計画や文化財を観光
資源として活用する課題などについてお話いただきました。

6月28日には本学のキャリア科目である「女性のキャリア形成Ⅲ」にて岡垣
町の門司町長をお招きし、お話いただきました。本授業では、学生自身が
キャリアを考え、卒業後に自分らしく道を切り開くヒントを得ていきます。
当日は岡垣町の組織や主だった部署のお仕事など、町の取り組みを具体的
にお聞きすることが出来ました。特に将来自治体の仕事に就きたい学生に
とっては非常に興味深い話だったのではないのでしょうか。



古賀市・NPO法人未来創造ハピネス>>包括連携協議会

本学は2022年度までに、20の地域自治体・産業界等と包括連携協定を結び、締結先と定期的に包括連携協
議会を実施しています。前期は6月に古賀市、8月にNPO法人未来創造ハピネスと協議会を実施しました。
当日は2022年度の活動の振り返りと、2023、2024年度に向けた連携事業について協議しました。古賀市
とは行政情報の多言語翻訳事業を中心に、留学生との交流事業を、NPO法人未来創造ハピネスとは教職課
程の学生を中心とする教育に関する連携事業、学生指導、市民講座などを取り組む方針を確認しました。

地域貢献部門の活動状況を掲載中！
こちらから大学ホームページをご覧ください

リンク：[【地域貢献活動状況】](#)



地域での学生の活躍

地域・国際交流センター【地域貢献】では、包括連携先を主軸とし、学生の学びにつながる多種多様な学外活動のコーディネートを行っています。学生ボランティアの募集は2021年4月から開始し、毎年50名近くの学生と依頼元の各機関をつないでいます。今回は2023年度前期の主な活動について紹介します。

甘木駅周辺基本構想策定会議コンセプト検討部会 <朝倉市>

朝倉市では、甘木駅に人が集まる、甘木駅を中心としたまちづくりを目指すため、「甘木駅周辺基本構想策定会議コンセプト検討部会」が開催されており、本学からは朝倉市に縁のある学生2名が定期的に活動へ参加しています。毎回、地域の方や他大学の学生など、幅広い年代の方が集まり、ワークショップ形式で意見を交わしています。みんなで検討した内容は甘木駅周辺整備基本構想策定会議で協議されます。学生にとっては、普段関わりのない地域の方との交流の場になるとともに、まちづくりについて理解を深める機会になっているようです。



ヤングアドバイザー <那珂川市教育委員会>

那珂川市教育委員会とは、ヤングアドバイザー派遣に関する覚書を締結しており、学生たちがわかば学級にて、学習や体験活動の支援員として継続的に活動中です。

参加しているのは、子ども発達学科または心理学科の2~4年生。学習サポート、調理実習、スポーツなどの体験活動。様々な場面における、生徒との関わり方を学んでいます。



中学生の生徒たちや先生方と楽しく充実した活動をしています。昨年から、生徒たちがめきめきとスキルアップしており、体験活動のバドミントンでは、楽しんでプレイする姿を見ることがとても嬉しいです。生徒たちが楽しいと思えるような雰囲気づくりを大切にしながら、今後も活動していきたいです。

学生の声

*わかば学級：心理的または情緒的な原因等の理由で「学校に行きたい」しかし「どうしても行けない」など登校できない、家を出ることができない児童生徒に対して、自主学習や体験活動を通して集団に適應する力を育み、社会的な自立や学校復帰をめざす援助・指導が行われています。

七夕笹飾り <小郡市>

8月4日、小郡市にある七夕神社こと媛社（ひめこそ）にて、8月7日の夏祭りに向け、全国から届いた数十万枚の短冊の飾りつけ作業に、授業「観光文化論B（観光まちづくり論）」を受講している学生たちがボランティアに参加しました。青空に映える色とりどりの短冊に囲まれ、訪れる方々に楽しんでもらえたのではないのでしょうか。



他にも地域からの依頼を受け、以下のような様々な活動に学生が参加しています。中には自分の住む地域から遠方の地域へ毎年継続して参加するなど、意欲的に活動しています。

春日市日の出小学校特別支援学級児童支援、小郡市学校支援ボランティア、小郡市学び場支援スタッフ、南市民センターリニューアル1周年記念イベント運営スタッフ、那珂川市イングリッシュデイ（※2023年度は中止）、那珂川市 小中学生 英語スピーチコンテスト「かわせみ杯」運営スタッフ、大野城市 放課後総合学習「ランドセルクラブ」、大野城市小中学生ヤングアドバイザー、福岡県肢体不自由児協会 療育キャンプスタッフ 等

包括連携先を主軸とし、学生の学びにつながる多種多様なボランティアやセミナーの案内を行っています。興味のある方はぜひご参加ください。

メール・Mission-Net掲示板、地域・国際交流センター前の貼り出しチラシをお見逃しなく！

福岡女学院大学

福岡女学院大学短期大学部

地域・国際交流センター

【地域貢献】

〒811-1313 福岡市南区日佐3-42-1 100周年記念館ミッションホール2F

TEL: 092-575-6154 (内線: 721) E-Mail: rcc@fukujo.ac.jp

受付時間: 月~金 9時~17時30分

リンク: [地域・国際交流センター【地域貢献】](#)

